

令和7年度

工 事 設 計 書

事 業 名 しっかり守る農林基盤交付金事業

工 事 名 しっかり守る農林基盤交付金事業(大山2工区)工事

工 事 場 所 西伯郡大山町鋺戸外

令和 7 年度

工 事 仕 様 書

第 1 総 則

本工事の仕様書に当り、その優先順位を次のとおりにする。

- 1) 特別仕様書（下記のとおり）
- 2) 設計図書
- 3) 鳥取県土木工事共通仕様書（令和 7 年 4 月改定版）
- 4) 農林水産省農村振興局制定「土木工事等共通仕様書」

第 2 特別仕様書

1) 工 事 概 要

工 事 名 しっかり守る農林基盤交付金事業(大山 2 工区) 工事

工 事 場 所 西伯郡 大山町飯戸外

工 事 内 容 ※工事内容は、別紙参照

2) 工事完成の期限

令和 8 年 1 月 3 1 日

3) 水準点及び基準線

標高の基準は、指定した K B M による。

4) 仕様書の削除

本工事に該当のない事項は、削除するものとする。

5) 用地及び附帯工事

工事に必要な材料置場、仮設道水路等一切の敷地及びこれに伴う費用、附帯する工事等は、すべて請負者において処置しなければならない。

6) 工 事 施 工

(1) 施 工 管 理

- 1) 鳥取県土木部制定「土木工事施工管理基準」
- 2) 農林水産省農村振興局制定「土木工事施工管理基準」

(2) 施 工 要 点

1. 工事中諸施設を破損した場合は、関係者及び関係機関に遅滞なく届け出るとともに、その指示により請負者において処理し監督員に速やかに報告すること。
この場合、監督員の確認が必要である。
2. 工事施工に伴う立ち木、水道等の撤去・移設については、監督員の指示により施工しなければならない。
3. 工事中の打合せ事項は、所定の様式により打合せしなければならない。打合せ簿に記載されない事項については、変更の対象としない場合がある。
4. 工事施行についてその期間中所定の様式に伴い、日報を提出しなければならない。
5. 請負者の施工する任意仮設は、この工事に十分な規模で労働基準法、その他関係諸法規に基づくものでなければならない。

(3) 安 全 管 理

- 1) 労働安全衛生法等諸法規を厳守し、工事の安全と円滑な進捗を図ること。

1. 歩行者及び通行車両等の安全を図るとともに、工事中における作業員の安全を確保すること。
2. 掘削作業・土留め作業等工事の安全を図るとともに、建設機械の能力・使用目的を十分に把握し、用途外使用等を行わないこと。
3. 安全計画を立てるとともに組織編成を行い、労働安全衛生に努めること。
4. 労働安全衛生法第59条、第60条及び第60条の2に定める安全衛生教育を実施するほか、工事現場に即した安全・訓練等を、全ての作業員を対象に月当り半日以上時間を割り当てて実施するものとする。

尚、安全・訓練等の実施については「鳥取県土木工事共通仕様書」1-1-6 施工計画、「安全管理」に実施項目を記載し監督員に提出するものとする。
又、請負者は工事完成検査等が安全に実施出来るよう、必要な処置を講じなければならない。

7) 暗渠排水・法下湧水処理

(i) 使用材料 (暗渠排水・法下湧水処理)

本工事に使用する主な資材の規格はつぎのとおりである。

資 材 名	規 格 寸 法	使用箇所	備 考
吸 水 管	焼き締め土管 φ75	吸水渠用 湧水管用	
排 水 管	VU φ75	集水渠用 排水管用	耕作面内
吐 出 管	VU φ75	排水管用	耕作面外
被 覆 材	単粒度碎石3号 S-40	吸水渠被覆用	
疎 水 材	単粒度碎石3号 S-40	吸水渠疎水用	

被覆材は極力ダスト成分を除外して使用すること

工事材料の品質規格が明らかでない場合は監督員の指示を受けなければならない。また指定しない材料の使用に当っては監督員の承認を受けなければならない。この場合監督員が指示する品質規格、各種試験表等の関係書類は遅滞なく提出しなければならない。

(ii) 施 工 手 順 (暗渠排水・法下湧水処理)

原則として次の順序による

位置(渠線)の設定→資材配置→堀 削→布 設→被覆材巻立→埋戻し→
排水口の施工→完了

(iii) 工 事 用 機 械 (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 工程表の提出に当っては、堀削機(バックホウ等)の台数・能力等、工程表の作成根拠を提出しなければならない。
- (2) 工事の遂行上監督員が必要と認め指示した機械はその指示に従い直ちに搬入しなければならない。
- (3) 機械の搬入後は監督員の承認を受けてからでなければ搬出してはならない。

(iv) 工 事 施 工 (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 工事期間中に監督員の行なう各種検査、及び試験についてはよりよき工事を行なうため特に協力しなければならない。

- (2) 各工事の写真は共通仕様書に準拠するが暗渠排水管・湧水処理管については上・下流の堀削深が判り、なお被覆材の厚さ、幅が判明するよう撮影する。その他堀削、配管布設、被覆材敷均し、埋戻し等の各作業工程が判別できるよう名称、測点、寸法を附記して撮影する。
- (3) 暗渠排水管、湧水処理管、排水管、吐出管、水甲の位置は図示のとおりであるがあらかじめ監督員の指示をうけなければならない。

(v) 堀 削 (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 堀削に先だち田面がたん水もしくは湿田化した場合には、仮排水路等を必要に応じて施工し水抜きを行って施工条件を良好にし、堀削溝内に流入することのないように配慮すること。
- (2) 堀削は各線共に下流から始め順次上流に向うものとする。
- (3) 堀削は表土と心土を可能な限り別々に置土し、その混合は極力防止すると共に計画高、計画勾配に不陸のないよう入念に仕上げをすること。
- (4) 用水路、排水路を横断堀削する所は施設を損傷させないように人力施工すること。
- (5) 堀削の進行につれて堀削深さ、勾配をチェックする、過堀りした場合は監督員の指示によって埋戻すこと。泥土等で埋戻してはならない。
- (6) 浸入水のある箇所では堀削溝に貯溜しないよう処置しなければならない。

(vi) 敷 設 (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 管の敷設は一筆水田の堀削完了後監督員の承認を得た後でなければならない。
- (2) 吸水管の堀削溝に泥水が溜っている状態でこれを敷設してはならない。
- (3) 吸水管、集水管の敷設は堀削と反対に上流より始めなければならない。
- (4) 管の切断は目の小さい鋸で行ない、接合は充分に差し込み完全に固定しなければならない。
- (5) 吸水管の上流端にはキャップを使用すること。
- (6) 水閘の取付位置は畦畔あるいは溝畔とするが止むを得ず他に取り付ける場合は監督員の指示に従わなければならない。
- (7) 管、水閘の敷設に当っては土砂が管内に入らないよう充分に注意しなければならない。もし管内に入った場合にはこれを完全に排除してから敷設すること。
- (8) 水閘は吐出管に接合し、同時に埋設すること。

(vii) 吸水管径の変更 (暗渠排水・法下湧水処理)

堀削後、予想以上の滲出水があり設計管径では不足と認められた場合は、監督員の指示により管径を変更することがある。

(viii) 埋 戻 し (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 吸水管の埋戻しは水田一筆の管敷設が完了した後、最初に被覆材を持って行なうが、この場合管が移動しないよう丁寧に行い、充分締固め均等に均さなければならない。
- (2) 一次埋戻しは人力で、二次埋戻しは機械で行うが、充分締固めを行ない旧地盤と密着するよう完全に行なわなければならない。
- (3) 吐出管は管、水閘設置後直ちに 20 cm 以上埋戻し、管の浮上及び移動を防止すること。
- (4) 埋戻しは管の亀裂、ひび割れ、管のジョイント（接合部）がゆるんだりはずれたりしないよう充分注意し、もしこのような事が生じた場合には再施工しなければならない。

- (5) 埋戻しは心土、表土を可能な限り区別して、各層毎に埋戻し、最後は表土を持って仕上げを行なう。表土の埋戻しは耕作に支障となる石レキ、木片等の雑物を混入させてはならない。

又掘削及び管敷設の終わった所は、その日の内に人力で埋戻しを行なう。

- (6) 吐出口部は特に入念に埋戻し充分に突き固めて法面仕上を行ない、排水路の流水又は、水田のたん水によって崩壊しないようにすること。
- (7) 埋戻しが完了した場合は、田面の石レキ等一切の障害物を取り除き、監督員の検査を受けなければならない。
- (8) 石レキ除去等については施工状況を把握し変更対応とする。
- (9) 石が出た場合は、監督員と協議により、適切な処分を行う。

(ix) そ の 他 (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 管理設深は各筆毎に指定された掘削深、勾配で敷設すること。
- (2) 工事に必要な材料置場、仮設道水路等の一切の用地及びこれに附帯する工事等は、全て請負者の負担において処置しなければならない。
- (3) 既設道路を資材運搬等に使用する場合、損傷しないように注意し、もし損傷させた場合は原状どおり請負者の負担において補修しなければならない。
- (4) 地区外の耕地、宅地への立入りは極力避け、もし立入り使用のときは請負者の責により措置すること。

8) 水路工

(i) 施工要点

1. 水路の底面及び側面は、掘りすぎないように施工すること。特に機械施工の場合は注意すること。
2. コンクリート二次製品の護岸及び水路は出来上りが不揃いにならないよう注意し、滑脱、沈下等の恐れを生じた場合は監督職員の指示を受け適切な処置を取らなければならない。
3. コンクリート二次製品は、検収後、据え付けるものとするが、破損のないよう注意し、施工しなければならない。
4. フリューム等の埋戻しは、一時に埋戻しを行わず数層に分け十分につき固めて施工しなければならない。
工事終了後に崩落、陥没のないよう施工すること。特に、道路側については十分突き固めること。
5. 用排水路で、既製品延長の関係で短区間の取り付けが必要な場合は、監督職員の承認を受け、現場打で施工取り付けして差し支えない。

(ii) 使用材料

(1) 資料の提出について

鳥取県土木工事共通仕様書第2編に基づき、請負者には、特別仕様書及び監督員の指示する工事材料については、使用前に見本又は資料を提出し承諾を得なければならない。

- ア) 日本工業規格(JIS)の表示許可材料を使用する場合、請負者は「工業材料使用届(様式-1)」を提出し監督員の承諾を得るものとする。
- イ) 日本工業規格(JIS)の表示許可材料以外の特殊材料を使用する場合、「工事材料使用承諾書(様式-2)」及び「使用材料一覧表(様式-3)」を提出し監督員の承諾を得るものとする。
- ウ) 発注者が適当と認めた生コンクリートについては、承認資料添付のうえ、使用届を提出するものとする。

(2) 使用材料の数量規格は、数量表の通りである。

- (3) 原則としてレディミクストコンクリート(生コンJIS A5308)を使用するものとする。セメントは普通ポルトランドセメント(JIS R5210)またはB種高炉セメント(JIS R5211)を使用する。

混和材料及びAE剤については必要に応じて監督員が指示するものとする。

名 称	スランプ	粗骨材最大寸法	使 用 箇 所
= 18N/mm ²	8.0cm	40mm	無筋コンクリート

コンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては55%以下無筋コンクリートについては60%以下とする。

上記以外の生コンを使用する場合は、骨材及びセメント試験成績表を添付した配合計画を提出して、承認を受けなくてはならない。この場合、監督員が必要と認めたときは試験練を行うこと。

(4) モルタルの配合は、下表のとおり。

名 称	モルタル 1 m ³ 当り		使 用 箇 所
	セメント	砂	
1 : 2	720 kg	0.95m ³	フリューム、管、接合
1 : 3	530 kg	1.05m ³	敷モルタル

(5) 基礎に使用する切込み砕石は、RC-40を使用する。

9) 舗装工

(i) 施工要点

1. プライムコート

アスファルト舗装、路盤施工後、よく清掃し 100m² 当たりアスファルト乳剤 PK-3 を 1
26 リットル/100m² 以上均等に散布すること。

2. タックコート

アスファルト舗装、現況アスファルト舗装をよく清掃し 100m² 当たりアスファルト乳剤
PK-4 を 43 リットル/100m² 以上均等に散布すること。

3. 表層工

- (1) アスファルト舗装の場合舗装締め固めは、基準密度の 94%以上、歩道部においては 89%
以上とする。
- (2) 材料の敷均しは、現場に適合した方法(人力、アスファルトフィニッシャー等)で行
い、所定の仕上げ厚が確保出来るようにしなければならない。
- (3) 転厚は、所定の密度になるよう、入念に転厚しなければならない。

4. 道路区分

復旧する舗装構成は、設計図書による。

5. 再生加熱アスファルト混合物の使用に関する特記仕様書

- (1) 請負者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。なお、使用に際
し、監督員及び再資源施設側(再生加熱アスファルト混合物を製造する施設)と十分協議
すること。

資材名	規格	使用箇所	備考
再生加熱アス ファルト混合物	As量5～8% 骨材最大粒 径13～20mm	道路舗装	As5～7%密粒As

- (2) 再生加熱アスファルト混合物の品質基準は、鳥取県土木工事共通仕様書、プラント再
生舗装技術指針等に適合するものとし、使用に先立ち「再生資源利用計画(実績)書」を
提出し、工事終了後その実績を記入し提出すること。
- (3) 再生骨材の混入率は 10～40%を標準とし、配合設計書を提出し、監督員の承認を得
ること。ただし、再生改質 I 型アスファルト混合物は 20%以下を標準とする。
- (4) 工事発注後、再生資材の品質及び供給が得られない等やむを得ない事情により上記
の指定により難い場合は別途協議すること。

6. 路盤工

- (1) 路盤工の 1 層当たり厚さは、仕上げ厚 15cm 以下とする。

- (2) 材料の敷均しは、締め固め効果を考慮し、所定の仕上げ厚が確保出来るよう一様に敷均し

を行う。

(3) 転圧は、基準に適合するよう、入念に締め固めを行わなければならない。

(4) 路盤の材料及び締め固めの基準は次による。

区 分	材 料	締 め 固 め の 規 定
路 盤	切込碎石	密度は、JISA1214の方法で最大乾燥密度の93%以上とする。

10) 残土処分等

(i) 掘削により発生する土砂は、(有)小倉興産(米子市尾高 2583、2584、2585-1)に搬入する。

(ii) コンクリート及びアスファルト塊は、(株)大協組(米子市淀江町稻吉字久坂平 997)に搬入する。

(iii) 廃棄ゴムは、(有)山陰クリエイト(米子市和田町西美保 2080-3)に搬入する。

別紙

[illegible]

しっかり守る農林基盤交付金事業(大山2工区)位置図



現場説明書

1

令和6年7月15日以降調達公告適用

工 程	①（他工事等との調整） _____については、_____と関連するので相互の連絡調整を密にすること。 ②（部分完成、着工保留） _____については、_____まで_____〔すること、しないこと〕。 ③（施工時間） 本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：00～17：00）を見込んでいる。 _____の施工時間は、_____：_____～_____：_____とする。 ④（余裕期間設定工事） 本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領（平成28年6月9日付第201600036328号県土整備部長通知）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 ⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 ⑥（週休2日工事） 【治山工事、林道工事、港湾工事、漁港工事以外】 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領（平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。 【治山工事、林道工事】 本工事は、鳥取県治山工事及び林道工事における週休2日の取得に要する費用計上実施要領（令和6年4月26日付第202400033117号森林・林業振興局長通知及び第202400031869号治山砂防課長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/317565.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い週休2日工事を実施すること。 【港湾工事、漁港工事】 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領（平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。 ただし、港湾工事及び漁港工事は、通期の週休2日の補正を適用しない。 そのため、月単位の週休2日に満たない場合、月単位の週休2日の補正係数を除し、請負代金額の減額変更を行う。 【農業農村整備工事】 本工事は、鳥取県農業農村整備事業工事週休2日工事試行実施要領（令和6年5月8日付第202400036012号農林水産部農業振興局農地・水保全課長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/301089.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い週休2日工事を実施すること。
用地関係	①（用地、物件等未処理） 本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）について調査済み〕である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。 ②（支障物件） _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 ③（立木の置き場所） 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
公害対策	①（低騒音型・低振動型建設機械） 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要があるため、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種：_____、施工機械：_____

安全対策	①（交通安全施設等） 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 交通誘導員A _____人 交替要員 _____人 1日あたり合計 _____人 配置日数 _____日 工事全体合計 _____人・日 交通誘導員B _____人 交替要員 _____人 1日あたり合計 _____人 配置日数 _____日 工事全体合計 _____人・日 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。 また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。
濁水処理	①（濁水処理） 工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。 また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について（平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知）（https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf）に基づいて適正に処理すること。
建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 建設発生土は、再生資源の利用の促進に係る特記仕様書（https://www.pref.tottori.lg.jp/312034.htm）により適切に対応すること。 ①（他工事等流用） 建設発生土は _____市・町・村 _____地内の _____工事現場に運搬（片道運搬距離 _____km）するものとする。 ②（建設技術センター） 建設発生土は _____市・町・村 _____地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 _____km）するものとする。なお、処理費として1m³当り _____円をセンターに支払うこと。 センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） ③（民間残土受入地） 建設発生土は米子市尾高地内の(有)小倉興産に運搬（運搬距離13.9km）する。なお、処理費として1m³当り1,700円を(有)小倉興産に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） ④（土質改良プラント） 建設発生土は _____市・町・村 _____地内の _____に運搬（片道運搬距離 _____km）するものとする。なお、処理費として1m³当り _____円を _____に支払うこと。 土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） 【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ①（分別解体等） コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1m³当り _____円 アスファルト塊 1m³当り _____円 建設発生木材 1m³当り _____円 ②（他工事等流用） 〔Co雑割材・ _____〕は、 _____市・町・村 _____地内 _____工事で使用するものとする。

建設副産物の使用	① (建設発生土の使用)―― _____工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。―― なお、建設発生土は、再生資源の利用の促進に係る特記仕様書 (https://www.pref.tottori.lg.jp/312034.htm)により適切に対応すること。―― ② (再生資材の使用)―― ア Co雑割材は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。―― イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。―― ウ 再生クラッシュラン〔規格：Re=_____〕は、使用箇所：_____に使用する。―― エ 再生コンクリート砂〔規格：RS=_____〕は、使用箇所：_____に使用する。―― オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。―― カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。―― キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該砕石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生砕石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生砕石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。―― ク 本工事において、粒度調整砕石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。――
工事用道路	① (農地の一時転用について)―― 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。―― 【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】―― 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。―― ② (農地の賃貸借)―― ア _____の用途に使用するため、_____市・町・村 _____番地を賃貸借すること。―― イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。―― ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。―― エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。―― オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。――
その他	① (自社施工)―― 本工事においては、(※) _____工 (_____工を除く) のうち少なくとも _____千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。―― ※該当する細別(レベル4)を記載する。―― ② (工事名称) 工事標示板に記載する名称は、<u>しっかり守る農林基盤交付金事業(大山2工区)工事</u> とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。――

③ (景観評価)

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔である・ではない〕。
イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。

④ (工事成績評定)

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と〔する・しない〕。工事成績評定の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するため。
ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計金額を変更した場合にあっては、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、500万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事
イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路に限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第97号）第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）
ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事
エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）
オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）

⑤ (監督体制)

本工事は監督体制は〔一般・重点〕監督とする。
重点監督の工種は_____とし、その他の工種は一般監督とする。
なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

⑥ (三者協議)

本工事は、（対象工事の区分を記載）工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

⑦ (技能士常駐)

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。
ア 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
イ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
ウ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

⑧ (電子納品)

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。
電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。
オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日付第202400071599号技術企画課長通知）に従うこと。

⑨ (情報共有システム)

予定価格4千万円以上の工事は、原則として情報共有システム（以下「システム」という。）を利用することとする。ただし、止むを得ない事情等によりシステムを利用できない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
予定価格4千万円未満の工事であっても、受注者がシステムの利用を希望する場合は、監督員と協議の上、システムを利用することができる。
システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩ (寒中コンクリート)

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

その他

⑪（建設機械の賃料の採用単価）

ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。
通常単価を採用した建設機械〔無し・有り（ ）〕
イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。
本工事の（ ）工で使用を想定しているラフテレーンクレーン（規格（ ）t吊）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価（ ）月号、（ ）頁）を採用し、本工事の（ ）工で使用を想定している高所作業車（規格（ ））の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価（ ）月号、（ ）頁）を採用している。

⑫（現場環境改善）

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。
下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。
実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。
地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。
1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 （港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

⑬（熱中症対策）

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。
また、気象庁から高温注意報（最高気温35℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

その他

⑭ (現場管理費補正)

【~~治山工事、林道工事以外~~】(該当しない場合は削除)

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知)の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を王期末の14日前までに提出すること。

【~~治山工事、林道工事~~】(該当しない場合は削除)

本工事は、治山事業及び林道事業における熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年7月31日付第201900109943号農林水産部森林・林業振興局長通知及び第201900108860号県土整備部治山砂防課長通知)の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を王期末の14日前までに提出すること。

⑮ (日本芝生産地への配慮)

日本芝の生産に配慮した植生工について(令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知)(<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>)に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。

ア [張芝工・筋芝工] は、日本芝の [野芝・高麗芝] を使用すること。

イ [植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工] に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。

ウ [わら芝工・植生シート工・植生マット工] に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m2当たり 〇〇円を見込んでいる。

⑯ (ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)])

【~~農業農村整備工事以外~~】(該当しない場合は削除)

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。

【~~農業農村整備工事~~】(該当しない場合は削除)

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「鳥取県農林水産部ICT活用工事実施要領」によること。

実施要領の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/301989.htm>を参照すること。

⑰ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

⑱ (標示板の設置)

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。

標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 事務連絡)を参考にすること。

⑲ (CCUS活用推奨工事[受注者希望型])

本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事(受注者希望型)特記仕様書」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。

⑳ (遠隔臨場)

本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。

㉑ (施工管理システム)

本工事は、施工管理システムの利用可能工事(試行)である。施工管理システムの利用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm>

㉒ (申請者との完成確認)

本工事完成後は必ず申請者又は申請者代理人等と現地確認をして、工事完成の承諾を得ること。

その他

※ 明示する項目を 〇〇 部分に記入または追記し、不要部分は「-」で削除して使用すること。



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

しっかり守る農村基盤交付金事業

しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

金抜き設計書

（当初）

大山町

[illegible]

UN70000

[illegible]

UN70000

UN70000

UN70000

UN70000

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費（仮設工を除く）					
・直接工事費					
・ ・ 大山2工区	1.000	式			
・ ・ ・ DA-2種原（水路改修）	1.000	式			1 式当たり
SP 掘削 土砂,上記以外(小規模),-, -,標準以外, -, -, -	1.600	m3			歩A・単A S単 24号
人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,人力タコ	0.900	m3			歩A・単A S単 1号
機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満	0.700	m3			歩A・単A S単 3号
SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準以外)	0.700	m3			歩A・単A S単 26号
SP 土砂等運搬 小規模,ハック材山積0.13m3(平積0.1m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,17.0km以下	0.700	m3			歩A・単A S単 27号
残土処分費 小倉興産	0.700	m3			歩A・単A S単 9号
【構造物取壊し】 有筋,なし,機械,昼間施工,しない	0.320	m3			歩A・単A S単 13号
機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満	0.320	m3			歩A・単A S単 3号
SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準以外)	0.320	m3			歩A・単A S単 26号
SP 土砂等運搬 小規模,ハック材山積0.13m3(平積0.1m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,9.0km以下	0.320	m3			歩A・単A S単 28号
無筋、有筋コンクリート処分費 (株)大協組	0.800	ton			歩A・単A S単 10号
BF450布設(DA-2)	6.000	m			歩A・単A T単 4号
湧水処理(DA-2) φ100ポリ管、単粒砕石巻き 削孔φ100	6.000	m			歩A・単A T単 5号
削孔φ150	2.000	箇所			歩A・単A T単 1号
削孔φ150	1.000	箇所			歩A・単A T単 3号
用水調節器 B型 150H300L200	1.000	個			歩A・単A
モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:2	0.001	m3			歩A・単A S単 44号
合 計					
・ ・ ・ DA-3赤松（水路改修）	1.000	式			1 式当たり
SP 掘削 土砂,現場制約あり, -, -, -, -, -, -	4.600	m3			歩A・単A S単 25号
人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,人力タコ	1.400	m3			歩A・単A S単 1号
SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準以外)	3.200	m3			歩A・単A S単 26号
機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,30～50m	3.200	m3			歩A・単A S単 4号
SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準以外)	3.200	m3			歩A・単A S単 26号
SP 土砂等運搬 小規模,ハック材山積0.13m3(平積0.1m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,17.0km以下	3.200	m3			歩A・単A S単 27号
残土処分費 小倉興産	3.200	m3			歩A・単A S単 9号
SP 型枠 一般型枠,小型構造物	4.350	m ²			歩A・単A S単 37号
コンクリート打設(DA-3)	1.100	m3			歩A・単A T単 7号
張コンクリート打設(DA-3)	3.100	m ²			歩A・単A T単 10号
嵩上げ工(DA-3)	14.500	m			歩A・単A T単 6号
止水工(DA-3)	1.000	箇所			歩A・単A T単 8号
300蓋撤去・再設置(DA-3)	10.000	枚			歩A・単A T単 9号
合 計					
・ ・ ・ DA-5宮内（進入路変更）	1.000	式			1 式当たり

[illegible]

UN70000

UN70000

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単－ 1号 *** 人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻)					
	粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,人力タコ		m3			歩A・単A
	*** S単－ 2号 *** 人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻)					
	砂・砂質土,盛土,まき出し,振動コンパクタ(I)		m3			歩A・単A
	*** S単－ 3号 *** 機械小運搬(土砂類、生コン)					
	機械小運搬(土砂類、生コン)					
	砂・砂利・栗石,100m未満		m3			歩A・単A
	*** S単－ 4号 *** 機械小運搬(土砂類、生コン)					
	機械小運搬(土砂類、生コン)					
	砂・砂利・栗石,30～50m		m3			歩A・単A
	*** S単－ 5号 *** 機械小運搬(土砂類、生コン)					
	機械小運搬(土砂類、生コン)					
	生コンクリート,30～50m		m3			歩A・単A
	*** S単－ 6号 *** 機械小運搬(二次製品、管類、セメント類)					
	機械小運搬(二次製品、管類、セメント類)					
	コンクリート二次製品,100m未満		ton			歩A・単A
	*** S単－ 7号 *** 運転手(特殊)					
	運転手(特殊)		人			歩A・単A
	*** S単－ 8号 *** 普通作業員					
	普通作業員		人			歩A・単A
	*** S単－ 9号 *** 残土処分費					
	残土処分費					
	小倉興産		m3			歩A・単A
	*** S単－ 10号 *** 無筋、有筋コンクリート処分費					
	無筋、有筋コンクリート処分費					
	(株)大協組		ton			歩A・単A
	*** S単－ 11号 *** アスファルト処分費					
	アスファルト処分費					
	(株)大協組		ton			歩A・単A
	*** S単－ 12号 *** アスファルト処分費					
	アスファルト処分費					
	(株)大協組		ton			歩A・単A
	*** S単－ 13号 *** 【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】					
	有筋,なし,機械,昼間施工,しない		m3			歩A・単A
	*** S単－ 14号 *** 【排水構造物工】					
	【排水構造物工】					
	U型側溝,昼間施工,L=2000,1000kg/個以下,なし,-,-,基礎砕石の施工無し,再利用撤去を行なわない		m			歩A・単A
	*** S単－ 15号 *** 【排水構造物工】					
	【排水構造物工】					
	蓋版,昼間施工,コンクリート・鋼製,40kg/枚以下,なし,-,-,再利用撤去を行なわない		枚			歩A・単A
	*** S単－ 16号 *** 【排水構造物工】					
	【排水構造物工】					
	蓋版,昼間施工,コンクリート・鋼製,40kg/枚以下,なし,-,-,再利用撤去を行なう		枚			歩A・単A
	*** S単－ 17号 *** 硬質ポリ塩化ビニル管人力布設					
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設					
	VU,100mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所		m			歩A・単A
	*** S単－ 18号 *** 硬質ポリ塩化ビニル管人力布設					
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設					
	VU,150mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所		m			歩A・単A
	*** S単－ 19号 *** トラック[クレーン装置付]					
	トラック[クレーン装置付]					
	ベーストラック4～4.5t積 2.0t吊,,運転1時間当たり算出		時間			歩A・単A
	*** S単－ 20号 *** バックホウ[クレーン型・排対型(2次)]					
	バックホウ[クレーン型・排対型(2次)]					
	,標準バックホウ容量 山積0.28m3(平積0.2m3),交替制補正対象外,運転1日当たり算出		日			歩A・単A
	*** S単－ 21号 *** 敷鉄板設置・撤去工					

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去,2,1,あり *** S単ー 22号 ***		m ²			歩A・単A
	敷鉄板設置・撤去工 敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去,8,1,あり *** S単ー 23号 ***		m ²			歩A・単A
	輸送費(仮設材) 輸送費(仮設材) 基本運賃(自動入力),12m以内,10kmまで,往復計上,計上する(敷鉄板),基地(積込・取卸)+現場(積込・取卸),0.0,0.0		ton			歩A・単A
	*** S単ー 24号 *** SP 掘削 SP 掘削 土砂,上記以外(小規模),-, -,標準以外, -, -, - *** S単ー 25号 ***		m ³			歩A・単A
	SP 掘削 SP 掘削 土砂,現場制約あり, -, -, -, -, -		m ³			歩A・単A
	*** S単ー 26号 *** SP 積込(ルーズ) SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準以外) *** S単ー 27号 ***		m ³			歩A・単A
	SP 土砂等運搬 SP 土砂等運搬 小規模,ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.13m ³ (平積0.1m ³),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,17.0km以下		m ³			歩A・単A
	*** S単ー 28号 *** SP 土砂等運搬 SP 土砂等運搬 小規模,ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.13m ³ (平積0.1m ³),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,9.0km以下		m ³			歩A・単A
	*** S単ー 29号 *** SP 法面整形 SP 法面整形 盛土部,有り,無し,ﾄﾚｯｼﾝｸﾞ質土、砂及び砂質土、粘性土、あり *** S単ー 30号 ***		m ²			歩A・単A
	法面仕上げ SP 法面整形 盛土部,有り,無し,ﾄﾚｯｼﾝｸﾞ質土、砂及び砂質土、粘性土、あり *** S単ー 31号 ***		m ²			歩A・単A
	水平面仕上げ SP 法面整形 盛土部,有り,無し,ﾄﾚｯｼﾝｸﾞ質土、砂及び砂質土、粘性土、あり		m ²			歩A・単A
	*** S単ー 32号 *** SP 殻運搬 SP 殻運搬 舗装版破砕,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,11.5km以下 *** S単ー 33号 ***		m ³			歩A・単A
	SP 舗装版破砕 SP 舗装版破砕 ｱｽﾌﾙﾄ舗装版,無し,不要,15cm以下, -, 有り,あり *** S単ー 34号 ***		m ²			歩A・単A
	SP 舗装版切断 SP 舗装版切断 ｱｽﾌﾙﾄ舗装版,15cm以下, -, - *** S単ー 35号 ***		m			歩A・単A
	SP 基礎碎石 SP 基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下,計上する,あり,再生クラッシャー RC-40 40～0mm *** S単ー 36号 ***		m ²			歩A・単A
	SP コンクリート SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8-40(高炉B) W/C65% *** S単ー 37号 ***		m ³			歩A・単A
	SP 型枠 SP 型枠 一般型枠,小型構造物 *** S単ー 38号 ***		m ²			歩A・単A
	SP 目地板 SP 目地板 30m ² 未満,計上する,目地板(瀝青質板) t=10mm *** S単ー 39号 ***		m ²			歩A・単A
	SP 不陸整正 SP 不陸整正 無し, -, -, あり *** S単ー 40号 ***		m ²			歩A・単A
	SP 上層路盤(歩道部) SP 上層路盤(歩道部) 50mm,1層施工,碎石,あり,粒度調整碎石 M-30 *** S単ー 41号 ***		m ²			歩A・単A
	SP 表層(歩道部)					

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業				
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事				

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	SP 表層（歩道部） 1.4m以上,30mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 各種,あり,再生密粒度 ｱｽﾌﾙﾄ(13)		m ²			歩A・単A
	*** S単－ 42号 *** SP 表層（歩道部） SP 表層（歩道部） 1.4m未満1層仕上厚50mm以下,30mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 各 種,再生密粒度ｱｽﾌﾙﾄ(13)		m ²			歩A・単A
	*** S単－ 43号 *** SP 暗渠排水管 SP 暗渠排水管 据付,直管,50～150mm,-		m			歩A・単A
	*** S単－ 44号 *** モルタル現場練合わせ モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:2		m ³			歩A・単A
	*** S単－ 45号 *** 人力床均し 人力床均し 土砂		m ²			歩A・単A
	*** T単－ 1号 *** 削孔φ100					
			箇所			歩A・単A
	*** T単－ 2号 *** 機械回送費					
			現場			歩A・単A
	*** T単－ 3号 *** 削孔φ150					
			箇所			歩A・単A
	*** T単－ 4号 *** BF450布設(DA-2)					
			m			歩A・単A
	*** T単－ 5号 *** 湧水処理(DA-2)					
	φ100ポリ管、単粒碎石巻き		m			歩A・単A
	*** T単－ 6号 *** 嵩上げ工(DA-3)					
			m			歩A・単A
	*** T単－ 7号 *** コンクリート打設(DA-3)					
			m ³			歩A・単A
	*** T単－ 8号 *** 止水工(DA-3)					
			箇所			歩A・単A
	*** T単－ 9号 *** 300蓋撤去・再設置(DA-3)					
			枚			歩A・単A
	*** T単－ 10号 *** 張コンクリート打設(DA-3)					
			m ²			歩A・単A
	*** T単－ 11号 *** BF300布設(DA-6)					
			m			歩A・単A
	*** T単－ 12号 *** 300蓋撤去・再設置(DA-6)					
			枚			歩A・単A
	*** T単－ 13号 *** 取水工					
			箇所			歩A・単A
	*** C単－ 1号 *** 碎石投入					
			m ³			歩A・単A

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,人力タコ			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質区分	粘性土・礫質土				
	2)作業区分	埋戻				
	3)施工区分	はね付け+まき出し				
	4)締固め区分	人力タコ				
	普通作業員	2.040	人			
	合 計					算出数量 10.000 m3
	単 価		m3			
	*** S単一 2号 ***					
	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,盛土,まき出し,振動コンパクタ(I)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質区分	砂・砂質土				
	2)作業区分	盛土				
	3)施工区分	まき出し				
	4)締固め区分	振動コンパクタ(I)				
	特殊作業員	0.200	人			
	普通作業員	0.680	人			
	諸雑費 10%	0.100				
	合 計					算出数量 10.000 m3
	単 価		m3			
	*** S単一 3号 ***					
	機械小運搬(土砂類、生コン)		m3		1.000 日	歩A 当たり算出
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)材料	砂・砂利・栗石				
	2)運搬距離区分	100m未満				
	不整地運搬車[クローラ型・油圧ダンプ式] クローラ型油圧ダンプ4.0ton	1.570	供用日			
	軽油	65.000	L			
	運転手(特殊) (不整地運搬車運転)	1.000	人			
	合 計					算出数量 65.100 m3
	単 価		m3			
	*** S単一 4号 ***					
	機械小運搬(土砂類、生コン)		m3		1.000 日	歩A 当たり算出
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,30~50m			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)材料	砂・砂利・栗石				
	2)運搬距離区分	30~50m				
	不整地運搬車[クローラ型・油圧ダンプ式] クローラ型油圧ダンプ4.0ton	1.570	供用日			
	軽油	65.000	L			
	運転手(特殊) (不整地運搬車運転)	1.000	人			
	合 計					算出数量 71.100 m3
	単 価		m3			
	*** S単一 5号 ***					

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	機械小運搬(土砂類、生コン)		m3		1.000 日	歩A 当たり算出
	機械小運搬(土砂類、生コン) 生コンクリート,30～50m			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)材料 2)運搬距離区分	生コンクリート 30～50m		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	普通作業員	0.260	人			
	不整地運搬車[クレー型・油圧ダンプ式] クレー型油圧ダンプ4.0ton	1.570	供用日			
	軽油 パトリール給油	65.000	L			
	運転手（特殊） (不整地運搬車運転)	1.000	人			
	合 計					算出数量 34.200 m3
	単 価		m3			
	*** S単一 6号 ***					
	機械小運搬(二次製品、管類、セメント類)		ton		1.000 日	歩A 当たり算出
	機械小運搬(二次製品、管類、セメント類) コンクリート二次製品,100m未満			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)運搬距離区分 2)材料	100m未満 コンクリート二次製品		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	特殊作業員	0.740	人			
	普通作業員	1.230	人			
	不整地運搬車[クレー型・カーゴ式・クレーン装置付] 3.5t積 2t吊	2.100	供用日			
	軽油 パトリール給油	30.000	L			
	運転手（特殊）	1.000	人			
	合 計					算出数量 39.600 ton
	単 価		ton			
	*** S単一 7号 ***					
	運転手（特殊） 運転手（特殊）		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	1)労務コード 2)労務単価算定区分			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	運転手（特殊）	1.000	人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単一 8号 ***					
	普通作業員 普通作業員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	1)労務コード 2)労務単価算定区分			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
				超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	普通作業員	1.000	人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単一 9号 ***					

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	残土処分費		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	残土処分費 小倉興産			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)地域資材単価コード			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)資材規格	小倉興産		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)単価の入力			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	残土処分費 小倉興産	1.000	m3			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単一 10号 ***					
	無筋、有筋コンクリート処分費		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	無筋、有筋コンクリート処分費 (株)大協組			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)地域資材単価コード			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)資材規格	(株)大協組		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)単価の入力			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	無筋、有筋コンクリート処分費 (株)大協組	1.000	ton			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単一 11号 ***					
	アスファルト処分費		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	アスファルト処分費 (株)大協組			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)地域資材単価コード			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)資材規格	(株)大協組		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)単価の入力			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	アスファルト処分費 (株)大協組	1.000	ton			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単一 12号 ***					
	アスファルト処分費		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	アスファルト処分費 (株)大協組			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)地域資材単価コード			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)資材規格	(株)大協組		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)単価の入力			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	アスファルト処分費 (株)大協組	1.000	ton			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単一 13号 ***					
	【構造物取壊し】		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	【構造物取壊し】 有筋,なし,機械,昼間施工,しない			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)作業区分	有筋		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)時間的制約	なし		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)施工区分Ⅰ	機械		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	4)施工区分Ⅱ	昼間施工		夜間制約作業時間:0.0		
	5)低騒音・低振動対策	しない				
	構造物とりこわし工鉄筋構造物 制約無 機械 機労 昼間	1.000	m3			
	合 計					算出数量 1.000 m3

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		m3			
	*** S単－ 14号 ***					
	【排水構造物工】		m		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【排水構造物工】 U型側溝,昼間施工,L=2000,1000kg/個以下,なし,-,-,基礎碎石の施工無し,再利用撤去を行なわない			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)施工区分Ⅰ	U型側溝				
	2)施工区分Ⅱ	昼間施工				
	3)規格Ⅰ	L=2000				
	4)規格Ⅱ	1000kg/個以下				
	5)時間的制約	なし				
	6)L=1000を使用	L=1000を使用しない				
	7)L=4000を使用	L=4000を使用しない				
	8)法面小段面	-				
	9)法面縦排水	-				
	10)再利用撤去の有無	再利用撤去を行なわない				
	11)基礎碎石の施工有無	基礎碎石の施工無し				
	排水構造物工 U型側溝 時間的制約無 L=2000mm 1000kg/個以下 機・労 昼間単価	1.000	m			
	合 計					算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]			
	*** S単－ 15号 ***					
	【排水構造物工】		枚		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【排水構造物工】 蓋版,昼間施工,コンクリート・鋼製,40kg/枚以下,なし,-,-,再利用撤去を行なわない			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)施工区分Ⅰ	蓋版				
	2)施工区分Ⅱ	昼間施工				
	3)規格Ⅰ	コンクリート・鋼製				
	4)規格Ⅱ	40kg/枚以下				
	5)時間的制約	なし				
	8)法面小段面	-				
	10)再利用撤去の有無	再利用撤去を行なわない				
	11)基礎碎石の施工有無	-				
	排水構造物工 蓋版 時間的制約無 コンクリート・鋼製 40kg/枚 機・労 昼間単価	1.000	枚			
	合 計					算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]			
	*** S単－ 16号 ***					
	【排水構造物工】		枚		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【排水構造物工】 蓋版,昼間施工,コンクリート・鋼製,40kg/枚以下,なし,-,-,再利用撤去を行なう			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)施工区分Ⅰ	蓋版				
	2)施工区分Ⅱ	昼間施工				
	3)規格Ⅰ	コンクリート・鋼製				
	4)規格Ⅱ	40kg/枚以下				
	5)時間的制約	なし				
	8)法面小段面	-				
	10)再利用撤去の有無	再利用撤去を行なう				
	11)基礎碎石の施工有無	-				
	排水構造物工 蓋版 時間的制約無 コンクリート・鋼製 40kg/枚 機・労 昼間単価	1.000	枚			
	合 計					算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]			
	*** S単－ 17号 ***					
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VU,100mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)管種区分	VU		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)管径区分(mm)	100mm		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)形状区分	直管(両差し口)		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	4)管長区分	4.0m管		夜間制約作業時間:0.0		
	5)接合箇所	0箇所				
	硬質ポリ塩化ビニル管 薄肉管VU 径100 長4.0m	2.440	本			
	雑材料費	0.020				
	土木一般世話役	0.080	人			
	特殊作業員	0.120	人			
	普通作業員	0.170	人			
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	*** S単一 18号 ***					
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VU,150mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)管種区分	VU		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)管径区分(mm)	150mm		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)形状区分	直管(両差し口)		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	4)管長区分	4.0m管		夜間制約作業時間:0.0		
	5)接合箇所	0箇所				
	硬質ポリ塩化ビニル管 薄肉管VU 径150 長4.0m	2.440	本			
	雑材料費	0.020				
	土木一般世話役	0.090	人			
	特殊作業員	0.130	人			
	普通作業員	0.190	人			
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	*** S単一 19号 ***					
	トラック[クレーン装置付]		時間		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	トラック[クレーン装置付] ベーストラック4～4.5t積 2.0t吊,,運転1時間当たり算出			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)機械コード《単位が時間のみ》			超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)機械コード(同上)			公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)機械損料算出区分	運転1時間当たり算出		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	4)運転1日当たり運転時間(T)	5.8時間		夜間制約作業時間:0.0		
	5)運転日に対する供用日の割合(YC)	1.23				
	6)単価計上区分					
	7)岩石補正区分	岩石補正なし				
	8)燃料の計上方法	機械経費算定基準値による				
	9)燃料区分	軽油				
	10)燃料消費量(入力の場合)	0.0				
	11)消耗部品の計上の有無	消耗部品を計上しない				
	13)消耗部品の適用条件(2)	消耗部品なし				
	14)名称(消耗部品)	—				
	15)規格(消耗部品)	—				
	トラック[クレーン装置付] ベーストラック4～4.5t積 2.0t吊	1.000	時間			
	軽油					
	バトロ給油	5.300	L			
	運転手(特殊)	0.170	人			
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価		各単位			
	単位					
	*** S単一 20号 ***					

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	バックホ[ｸﾛｰﾗ型・排対型(2次)]		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	バックホ[ｸﾛｰﾗ型・排対型(2次)] 標準ﾊﾞｯｸﾄ容量 山積0.28m3(平積0.2m3),交替制補正対象外,運転1			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	日当たり算出					
	1)機械コード《単位が日のみ》 2)機械損料算出区分	運転1日当たり算出				
	3)運転1日当たり運転時間(T)	6.3				
	4)運転日に対する供用日の割合(YC)	1.50				
	5)単価計上区分					
	6)燃料区分	軽油				
	7)燃料の計上方法	機械経費算定基準値による				
	8)燃料消費量(入力の場合)	0.0				
	9)交替制作業補正区分	交替制補正対象外				
	バックホ[ｸﾛｰﾗ型・排対型(2次)] 標準ﾊﾞｯｸﾄ容量 山積0.28m3(平積0.2m3)	1.500	供用日			
	軽油					
	ﾊﾞﾄﾚﾙ給油	37,000	L			
	合 計					算出数量 1,000 各単位
	単 価		各単位			
	単位					
	*** S単一 21号 ***					
	敷鉄板設置・撤去工		m ²		1,000,000 m ²	歩A 当たり算出
	敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去,2,1,あり			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)施工区分	設置～賃料～撤去				
	2)供用日数	2				
	3)使用回数	1				
	4)長期割引単価区分(賃料機械)					
	敷鉄板 22*1524*6096 [賃料]	1,000,000	m ² 供用日			
	敷鉄板 22*1524*6096 [整備費]	1,000,000	m ²			
	特殊作業員	2,900	人			
	普通作業員	2,900	人			
	バックホ[ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ・～超低・排対型(～2014)] 標準ﾊﾞｯｸﾄ容量 山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力2.9t	3,310	日			
	軽油					
	ﾊﾞﾄﾚﾙ給油	345,000	L			
	運転手(特殊)	2,900	人			
	合 計					算出数量 1,000,000 m ²
	単 価		m ²			
	*** S単一 22号 ***					
	敷鉄板設置・撤去工		m ²		1,000,000 m ²	歩A 当たり算出
	敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去,8,1,あり			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)施工区分	設置～賃料～撤去				
	2)供用日数	8				
	3)使用回数	1				
	4)長期割引単価区分(賃料機械)					
	敷鉄板 22*1524*6096 [賃料]	1,000,000	m ² 供用日			
	敷鉄板 22*1524*6096 [整備費]	1,000,000	m ²			
	特殊作業員	2,900	人			
	普通作業員	2,900	人			
	バックホ[ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ・～超低・排対型(～2014)] 標準ﾊﾞｯｸﾄ容量 山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力2.9t	3,310	日			
	軽油					
	ﾊﾞﾄﾚﾙ給油	345,000	L			
	運転手(特殊)	2,900	人			
	合 計					算出数量 1,000,000 m ²
	単 価		m ²			

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 23号 ***					
	輸送費(仮設材)		ton		1.000 ton	歩A 当たり算出
	輸送費(仮設材) 基本運賃(自動入力),12m以内,10kmまで,往復計上,計上する(敷鉄板) ,基地(積込・取卸) + 現場(積込・取卸),0.0,0.0			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:1 0 % 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)使用単価区分 2)運賃料金(円/ton)	0円				
	3)製品長 4)運搬距離(片道)	12m以内 10kmまで				
	5)計上方法 6)積卸し計上区分	往復計上 計上する(敷鉄板)				
	7)積卸し区分(敷鉄板) 9)冬期割増率 (実数)	基地(積込・取卸) + 現場(積込・取卸) 0.0				
	10)深夜早朝割増率 (実数)	0.0				
	仮設材輸送運賃料金 10km以下 製品長12m以内	1.000	ton			
	積卸し費 基地積込み・取卸し + 現場積込み・取卸し	1.000	ton			
	合 計					算出数量 1.000 ton
	単 価		ton			
	*** S単一 24号 ***					
	SP 掘削		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 掘削 土砂,上記以外(小規模),-, -, 標準以外, -, -, -			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:1 0 % 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法	土砂 上記以外(小規模)				
	3)押土の有無 4)障害の有無	- -				
	5)施工数量 6)火薬使用	標準以外 -				
	7)破砕片除去の有無 8)集積押土の有無	- -				
	単 価		m3			
	*** S単一 25号 ***					
	SP 掘削		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 掘削 土砂,現場制約あり, -, -, -, -, -			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:1 0 % 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法	土砂 現場制約あり				
	3)押土の有無 4)障害の有無	- -				
	5)施工数量 6)火薬使用	- -				
	7)破砕片除去の有無 8)集積押土の有無	- -				
	単 価		m3			
	*** S単一 26号 ***					
	SP 積込(ルーズ)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準以外)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:1 0 % 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質 2)作業内容	土砂 小規模(標準以外)				

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		m3			
	*** S単一 27号 ***					
	SP 土砂等運搬		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 小規模,ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.13m3(平積0.1m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,無し,17.0km以下			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格 3)土質 4)DID区間の有無 5)運搬距離	小規模 ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.13m3(平積0.1m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 17.0km以下				
	単 価		m3			
	*** S単一 28号 ***					
	SP 土砂等運搬		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 小規模,ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.13m3(平積0.1m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,無し,9.0km以下			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格 3)土質 4)DID区間の有無 5)運搬距離	小規模 ﾊﾞｯｸﾎﾞｰﾄﾞ山積0.13m3(平積0.1m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 9.0km以下				
	単 価		m3			
	*** S単一 29号 ***					
	SP 法面整形		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部,有り,無し,㍷質土、砂及び砂質土、粘性土、あり			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無 3)現場制約の有無 4)土質 5)長期割引単価区分	盛土部 有り 無し ㍷質土、砂及び砂質土、粘性土				
	単 価		m ²			
	*** S単一 30号 ***					
	法面仕上げ		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部,有り,無し,㍷質土、砂及び砂質土、粘性土、あり			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無 3)現場制約の有無 4)土質 5)長期割引単価区分	盛土部 有り 無し ㍷質土、砂及び砂質土、粘性土				
	単 価		m ²			
	*** S単一 31号 ***					

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業				
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	水平面仕上げ		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部、有り、無し、 は 質土、砂及び砂質土、粘性土、あり			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無 3)現場制約の有無 4)土質 5)長期割引単価区分	盛土部 有り 無し は 質土、砂及び砂質土、粘性土				
	単 価		m ²			
	*** S単— 32号 ***					
	SP 殻運搬		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 舗装版破碎、機械積込(舗装版厚15cm以下)、無し、11.5km以下			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)DID区間の有無 4)運搬距離	舗装版破碎 機械積込(舗装版厚15cm以下) 無し 11.5km以下				
	単 価		m ³			
	*** S単— 33号 ***					
	SP 舗装版破碎		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 舗装版破碎 アスファルト舗装版、無し、不要、15cm以下、-, 有り、あり			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)舗装版種別 2)障害等の有無 3)騒音振動対策 4)舗装版厚 5)Co+As(かゝ-)舗装によるAs舗装 6)積込作業の有無 7)長期割引単価区分	アスファルト舗装版 無し 不要 15cm以下 - 有り				
	単 価		m ²			
	*** S単— 34号 ***					
	SP 舗装版切断		m		1,000 m	歩A 当たり算出
	SP 舗装版切断 アスファルト舗装版、15cm以下、-, -			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)舗装版種別 2)アスファルト舗装版厚 3)コンクリート舗装版厚 4)コンクリート+アスファルト(かゝ-)舗装版	アスファルト舗装版 15cm以下 - -				
	単 価		m			
	*** S単— 35号 ***					
	SP 基礎碎石		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下、計上する、あり、再生クラッシャラン RC-40 40～0mm			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1) 碎石の厚さ 2) 碎石の計上 3) 長期割引単価区分 4) 規格区分	7.5cmを超え12.5cm以下 計上する 再生クラッシャラン RC-40 40～0mm				
	単 価		m ³			
	*** S単一 36号 ***					
	SP コンクリート		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8-40(高 炉B) W/C65%			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし 時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 週休: 補正なし 制約作業時間: 0.0	
	1) 構造物種別 2) 打設工法 3) コンクリートの計上 4) 設計目打設量 5) 養生工の種類 6) 圧送管延長距離区分 7) 現場内小運搬の有無 8) 打設高さ、水平打設距離 10) 規格区分	小型構造物 人力打設 計上する - 一般養生 - 無し - 18-8-40(高炉B) W/C65%				
	単 価		m ³			
	*** S単一 37号 ***					
	SP 型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠, 小型構造物			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし 時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 週休: 補正なし 制約作業時間: 0.0	
	1) 型枠の種類 2) 構造物の種類	一般型枠 小型構造物				
	単 価		m ²			
	*** S単一 38号 ***					
	SP 目地板		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 目地板 30m2未満, 計上する, 目地板(瀝青質板) t=10mm			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし 時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 週休: 補正なし 制約作業時間: 0.0	
	1) 1工事当り使用量 2) 目地板の計上 3) 規格区分	30m2未満 計上する 目地板(瀝青質板) t=10mm				
	単 価		m ²			
	*** S単一 39号 ***					
	SP 不陸整正		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 不陸整正 無し, -, -, あり			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし 時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 週休: 補正なし 制約作業時間: 0.0	
	1) 補足材料の有無 2) 補足材料平均厚さ 3) 補足材料 4) 長期割引単価区分	無し - - -				
	単 価		m ²			
	*** S単一 40号 ***					

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業				
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	SP 上層路盤（歩道部）		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 上層路盤（歩道部） 50mm,1層施工,碎石,あり,粒度調整碎石 M-30			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)全仕上り厚 2)施工区分 3)材料 4)長期割引単価区分 5)材料規格の選択	50mm 1層施工 碎石 粒度調整碎石 M-30				
	単 価		m ²			
	*** S単一 41号 ***					
	SP 表層（歩道部）		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 表層（歩道部） 1.4m以上,30mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾞﾗｲﾄﾞﾎｰﾄﾞ 各種,あり, 再生密粒度ﾌﾞﾗｲﾄﾞ(13)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚 3)比重区分 4)瀝青材料種類 5)長期割引単価区分 6)材料区分	1.4m以上 30mm 各種(2.30以上2.40t/m3未満) ﾌﾞﾗｲﾄﾞﾎｰﾄﾞ 各種 再生密粒度ﾌﾞﾗｲﾄﾞ(13)				
	単 価		m ²			
	*** S単一 42号 ***					
	SP 表層（歩道部）		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 表層（歩道部） 1.4m未満1層仕上厚50mm以下,30mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾞ ﾗｲﾄﾞﾎｰﾄﾞ 各種,再生密粒度ﾌﾞﾗｲﾄﾞ(13)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)平均幅員 2)1層当り平均仕上り厚 3)比重区分 4)瀝青材料種類 6)材料区分	1.4m未満1層仕上厚50mm以下 30mm 各種(2.30以上2.40t/m3未満) ﾌﾞﾗｲﾄﾞﾎｰﾄﾞ 各種 再生密粒度ﾌﾞﾗｲﾄﾞ(13)				
	単 価		m ²			
	*** S単一 43号 ***					
	SP 暗渠排水管		m		1,000 m	歩A 当たり算出
	SP 暗渠排水管 据付,直管,50～150mm,-			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)作業区分 2)管種別 3)呼び径 4)継手材料費	据付 直管 50～150mm -				
	単 価		m			
	*** S単一 44号 ***					
	モルタル現場練合わせ		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:2			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)材料区分 2)配合比区分	洗砂(細目) 1:2				

UN70000

UN70000

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** T単- 1号 ***					
	削孔φ100		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	マンホール削孔塩ビ用 0号 φ100	1.000	箇所			
	合 計					算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所			
	*** T単- 2号 ***					
	機械回送費		現場		1.000 現場	歩A 当たり算出
	トラック[クレーン装置付] ベ-ストトラック4〜4.5t積 2.0t吊,,運転1時間当たり算出	1.000	時間			S単 19号
	合 計					算出数量 1.000 現場
	単 価		現場			
	*** T単- 3号 ***					
	削孔φ150		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	マンホール削孔塩ビ用 0号 φ150	1.000	箇所			
	合 計					算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所			
	*** T単- 4号 ***					
	BF450布設(DA-2)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	【排水構造物工】 U型側溝,昼間施工,L=2000,1000kg/個以下,なし,-,-,基礎砕石の施工無し,再利用撤去を行なわない	10.000	m			S単 14号
	ベンチフリューム 呼称450型 L=2m	5.000	本			
	フリューム・タイト 450型用	5.000	個			
	機械小運搬(二次製品、管類、セメント類) コンクリート二次製品,100m未満	1.295	ton			S単 6号
	人力床均し 土砂	4.400	m ²			S単 45号
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	*** T単- 5号 ***					
	湧水処理(DA-2)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	φ100ポリ管、単粒砕石巻き 砕石投入	0.800	m ³			C単 1号
	単粒度砕石 3号 40〜30mm	0.840	m ³			
	SP 暗渠排水管 据付,直管,50〜150mm,-	10.000	m			S単 43号
	暗渠排水管(網状管) φ100	10.000	m			
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満	0.840	m ³			S単 3号
	人力床均し 土砂	1.500	m ²			S単 45号
	合 計					算出数量 10.000 m

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業（大山2工区）工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価		m			
	*** T単- 6号 ***					
	嵩上げ工(DA-3)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-40(高炉B) W/C65%	1.420	m3			S単 36号
	SP 型枠 一般型枠,小型構造物	9.100	m ²			S単 37号
	SP 基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下,計上する,あり,再生クラッシャラン RC-40 40~0mm	3.300	m ³			S単 35号
	SP 目地板 30m2未満,計上する,目地板(瀝青質板) t=10mm	0.142	m ²			S単 38号
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,30~50m	0.330	m3			S単 4号
	機械小運搬(土砂類、生コン) 生コンクリート,30~50m	1.420	m3			S単 5号
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	*** T単- 7号 ***					
	コンクリート打設(DA-3)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-40(高炉B) W/C65%	1.000	m3			S単 36号
	機械小運搬(土砂類、生コン) 生コンクリート,30~50m	1.000	m3			S単 5号
	合 計					算出数量 1.000 m3
	単 価		m3			
	*** T単- 8号 ***					
	止水工(DA-3)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-40(高炉B) W/C65%	0.009	m3			S単 36号
	SP 型枠 一般型枠,小型構造物	0.118	m ²			S単 37号
	機械小運搬(土砂類、生コン) 生コンクリート,30~50m	0.009	m3			S単 5号
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VU,100mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所	0.150	m			S単 17号
	合 計					算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所			
	*** T単- 9号 ***					
	300蓋撤去・再設置(DA-3)		枚		1.000 枚	歩A 当たり算出
	【排水構造物工】 蓋版,昼間施工,コンクリート・鋼製,40kg/枚以下,なし,-,-,再利用撤去を行なわない	1.000	枚			S単 15号
	【排水構造物工】 蓋版,昼間施工,コンクリート・鋼製,40kg/枚以下,なし,-,-,再利用撤去を行なう	1.000	枚			S単 16号
	合 計					算出数量 1.000 枚
	単 価		枚			
	*** T単- 10号 ***					
	張コンクリート打設(DA-3)		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出

UN70000

UN70000

設 計 図 面
数 量 表

(大 山 2 工 区)

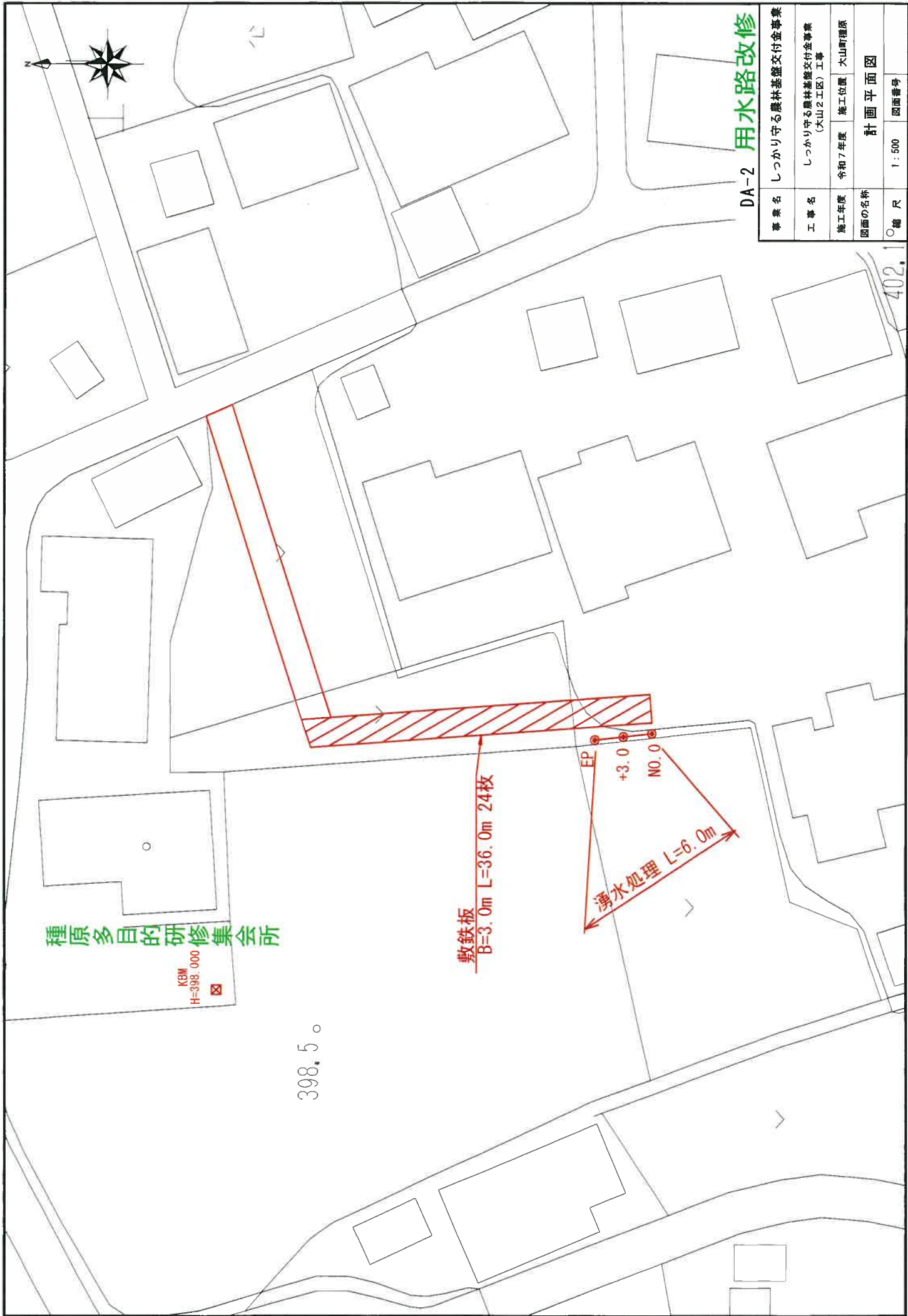
設 計 図 面
数 量 表

面

図

計

設



DA-2 用水路改修

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業			
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山2工区) 工事			
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町種原	
図面の名称	計画平面図			
○縮尺	1:500	図面番号		

圖面新

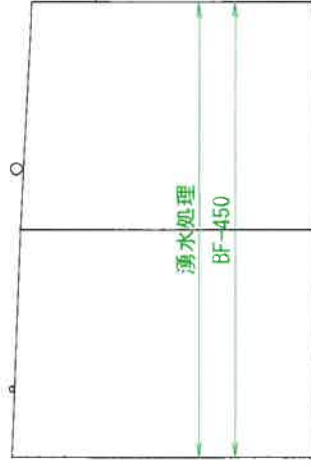
Technical drawing of a mechanical part, likely a valve or fitting, showing two views: a top view (left) and a side view (right).

Top View (Left):

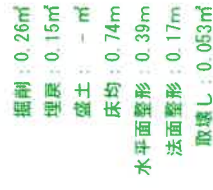
- Overall width: $\Delta 39.8$
- Inner width: $\phi 150$
- Outer diameter: $\phi 150$
- Inner diameter: $\phi 100$
- Label: 取水 (Water Outlet)

Side View (Right):

- Overall height: $\Delta 39.8$
- Inner height: $\phi 150$
- Outer diameter: $\phi 150$
- Inner diameter: $\phi 100$
- Label: 取水 (Water Outlet)



DL=397.00

DA-2
用水路改修

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業			
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山2工区) 工事			
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町理原	
図面の名称	断面図1			
縮尺	図示	図面番号		

表

量

数

DA-2 数量総合表							
工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	数 量	単 位	摘 要
水路工事							
土工	掘削				1.6	m ³	
	埋め戻し				0.9	"	
	残土				0.7	"	
	鉄筋コンクリート 取り壊し				0.32	"	
装工							
	BF400				6.00	m	
	用水調節器				1.000	箇所	
	湧水処理	φ 100			6.00	m	
	削孔 φ 100				2.00	箇所	
	削孔 φ 150				1.00	箇所	
仮設工							
	敷鉄板敷設・撤去	22*1.524*3.048			111.48	m ²	24枚

土工数量計算書

測点番号	測点間距離	掘削			埋め戻し			床均し			式		長さ		備考
		断面	平均断面	立 積	断面	平均断面	立 積	長さ	平均断面	平 積					
NO. 0		0.26			0.15			0.740							
NO. 0 + 6.00	6.00	0.26	0.26	1.56	0.15	0.15	0.90	0.740	0.74	4.40					
			0.13			0.08			0.37						
計	6.00			1.56			0.90			4.40					

土工数量計算書

測点番号	測点間距離	法面仕上げ			水平面仕上げ			鉄筋コンクリート取り壊し			式		長さ		備考
		断面	平均断面	立 積	断 面	平均断面	立 積	長さ	平均断面	平 積	式	長さ			
NO. 0		0.17	0.09		0.39			0.053							
NO. 0 + 6.00	6.00	0.17	0.17	1.02	0.39	0.39	2.34	0.053	0.05	0.32					
			0.09			0.20			0.03						
計	6.00			1.02			2.34			0.32					

第 1 表 延 長 調 書			
BF400			
測 点	単位	延長又は個数	備 考
No. 0～No. 0+6. 0	m	6. 0	
計		6. 0	
湧水処理			
測 点	単位	延長又は個数	備 考
No. 0～No. 0+6. 0	m	6. 0	
計		6. 0	
用水調節器			
測 点	単位	延長又は個数	備 考
No. 0+3. 8付近	箇所	1	
計	箇所	1	
削孔φ100			
測 点	単位	延長又は個数	備 考
No. 0+0. 9	箇所	1	
No. 0+6. 0		1	
	箇所	2	
計			
削孔φ150			
測 点	単位	延長又は個数	備 考
No. 0+3. 8	箇所	1	
	箇所	1	
計			

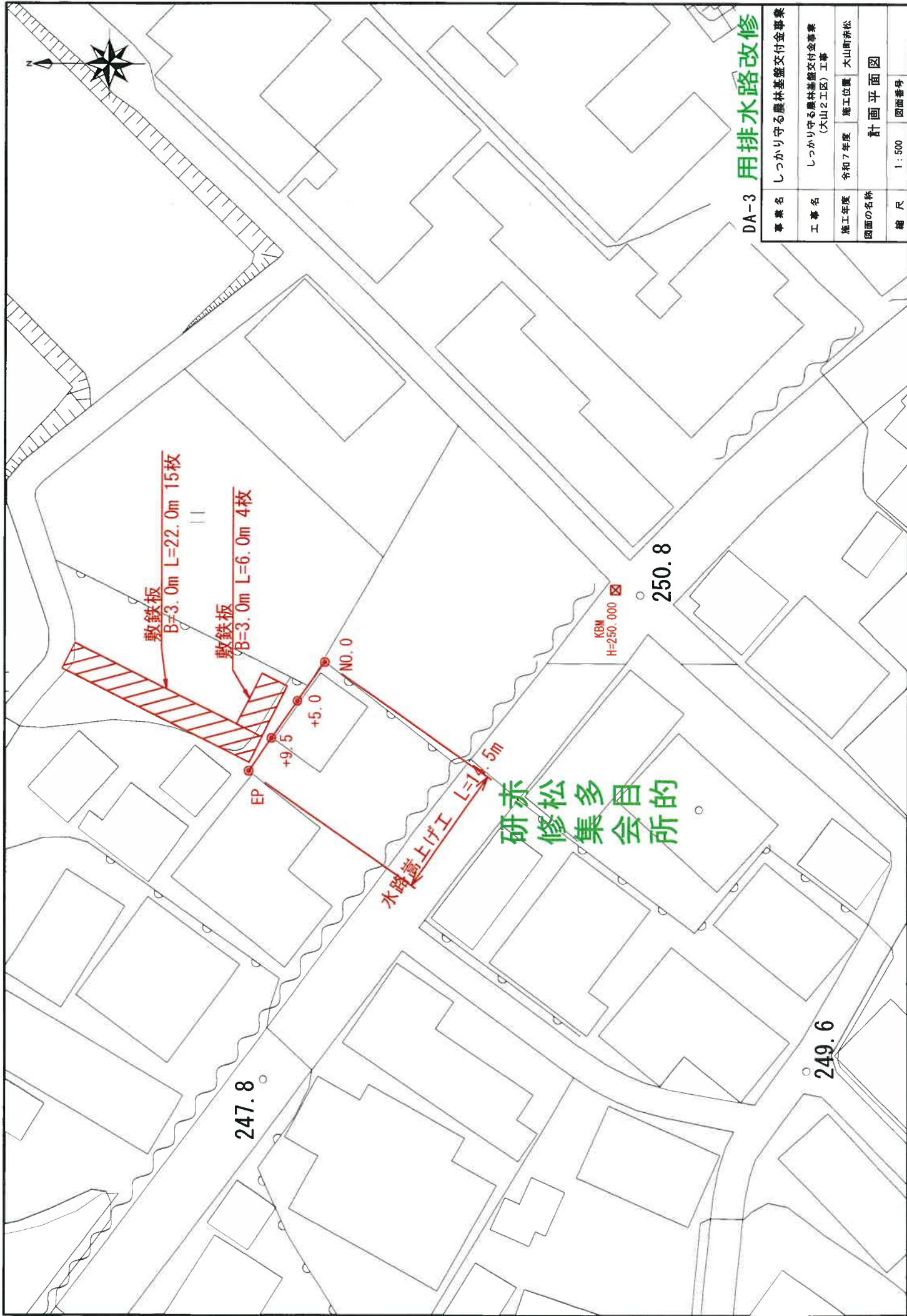
設 計 図 面
数 量 表

面

図

計

設



DA-3 用排水路改修

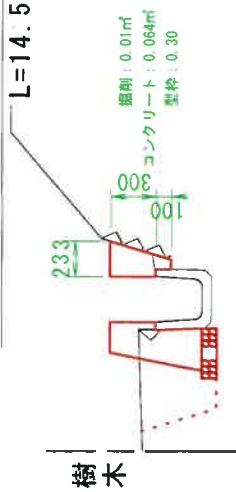
事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山2工区) 工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町赤松
図面の名称			
計画平面図			
縮尺	1:500	図面番号	

縦断面図

断面図

S=1:50

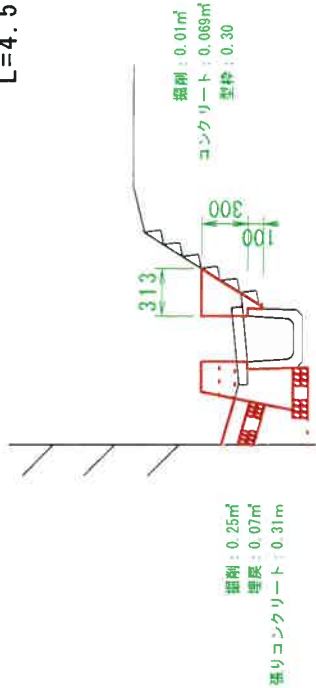
N0.0+9.5~N0.0+14.5 (EP)



DL=247.00

N0.0+5.0~N0.0+9.5

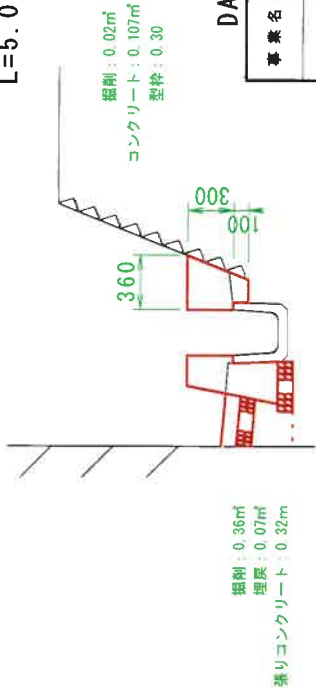
L=4.5



DL=247.00

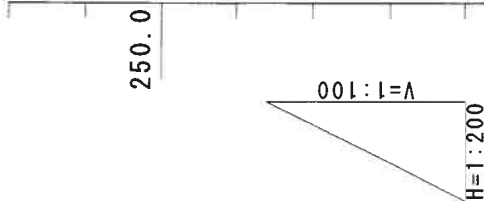
N0.0~N0.0+5.0

L=5.0



DL=247.00

U300用蓋
撤去・再設置10枚



DL=245.00

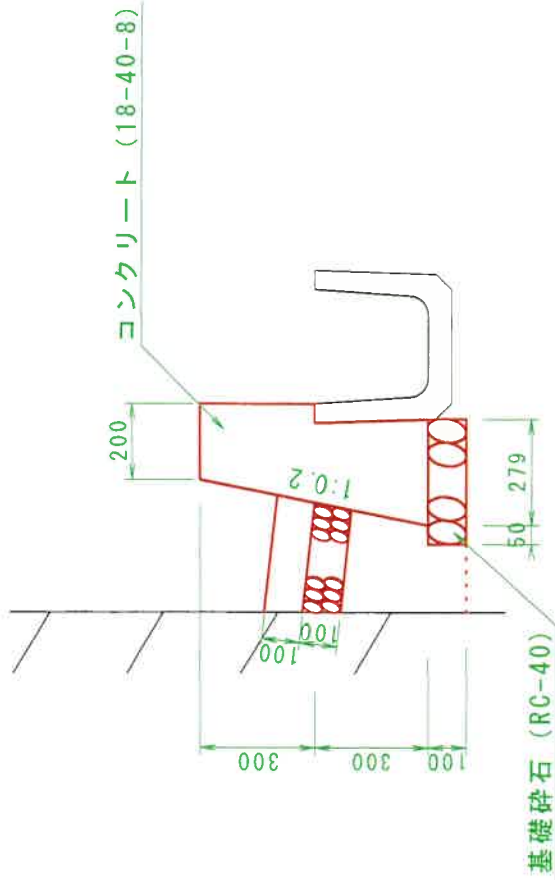
勾配	計画高	地盤高	追加距離	単距離	測点
					N0.0
			0.00	0.00	
			248.25	248.25	
			248.10	248.10	
			248.06	248.06	
			247.80	247.80	
			247.51	247.51	
			247.51	247.51	EP

DA-3 用排水路改修

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業			
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山2工区) 工事			
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町赤松	
図面の名称	縦横断面図			
縮尺	図示	図面番号		

嵩上げ工

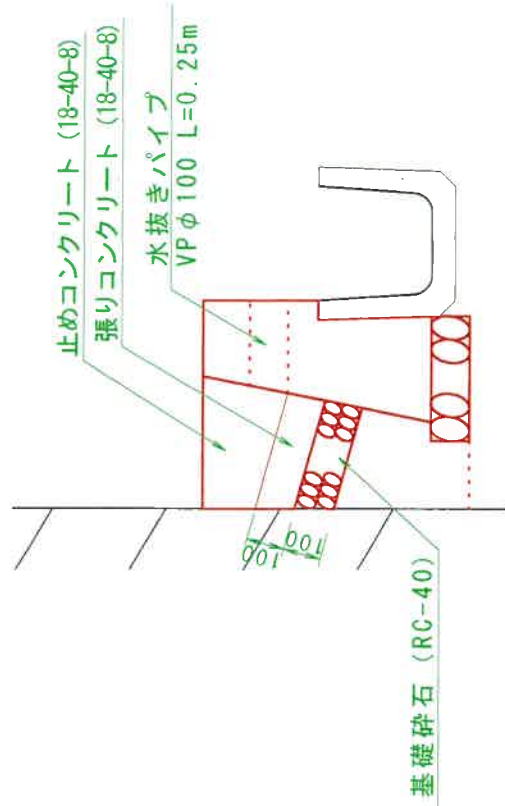
S=1:20



嵩上工 数量表 10.0m当り			
名	規格	単位	数量
コンクリート	18-40-8	m ³	1.42
型	RC-40 t=100	m ²	9.10
基礎砕石	RC-40 t=100	m ³	3.30
目地板	VP φ100 L=0.25m	m ²	0.142
水抜きパイプ		カ所	1.0

張りコンクリート

S=1:20



止めコンクリート 数量表 1.0カ所当り			
名	規格	単位	数量
コンクリート	18-40-8	m ³	0.009
型		m ²	0.118

張りコンクリート 数量表 1.0m当り			
名	規格	単位	数量
コンクリート	18-40-8 t=100	m ³	1.00
基礎砕石	RC-40 t=100	m ³	1.00

DA-3 用排水路改修

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山2工区) 工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町赤松
図面の名称	構造図		
縮尺	図示	図面番号	

表

量

数

DA-3 数量総括表								
工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	数 量	単 位	摘 要	
水路工事								
土工	掘削				4.6	m ³		
	埋め戻し				1.6	"		
	残土				3.1	"		
装工								
	嵩上げ	H=0.3			14.50	m		
	型枠				4.350	m ²		
	コンクリート	18-8-40			1.10	m ³		
	止水工				1	箇所		
	U300用蓋 撤去・再設置				10	枚		
	張コンクリート				3.10	m ²		
仮設工								
	敷鉄板敷設・撤去	22*1.524*3.048			88.26	m ²	19枚	

土工数量計算書

測点番号	測点間距離	掘削			埋め戻し			コンクリート			式		備考
		断面	平均断面	立 積	断面	平均断面	立 積	長さ	平均断面	平 積	式	長さ	
NO. 0		0.38			0.07			0.107					
NO. 0 + 5.00	5.00	0.38	0.38	1.90	0.07	0.07	0.35	0.107	0.11	0.50			
NO. 0 + 5.00		0.26	0.32		0.07	0.07		0.069	0.09				
NO. 0 + 9.50	4.50	0.26	0.26	1.17	0.07	0.07	0.32	0.069	0.07	0.30			
NO. 0 + 9.50		0.31	0.29		0.17	0.12		0.064	0.07				
NO. 0 + 14.5	5.00	0.31	0.31	1.55	0.17	0.17	0.90	0.064	0.06	0.30			
			0.16			0.09			0.03				
計	14.50			4.62			1.57			1.10			

土工数量計算書

測点番号	測点間距離	型枠			嵩上げ			張コンクリート			式		長さ		備考
		断面	平均断面	立 積	断 面	平均断面	立 積	長さ	平均断面	平 積	式	長さ	長さ		
NO. 0		0.30	0.15		1.00			0.34							
NO. 0 + 5.00	5.00	0.30	0.30	1.50	1.00	1.00	5.00	0.34	0.34	1.70					
NO. 0 + 5.00		0.30	0.30		1.00	1.00		0.31	0.33						
NO. 0 + 9.50	4.50	0.30	0.30	1.35	1.00	1.00	4.50	0.31	0.31	1.40					
NO. 0 + 9.50		0.30	0.30		1.00	1.00			0.16						
NO. 0 + 14.5	5.00	0.30	0.30	1.50	1.00	1.00	5.00								
			0.15			0.50									
計	14.50			4.35			14.50			3.10					

第 1 表 延 長 調 書			
嵩上げ			
測 点	単位	延長又は個数	備 考
No. 0～No. 0+14. 5	m	14. 5	
計		14. 5	
止水工			
測 点	単位	延長又は個数	備 考
No. 0+9. 5付近	箇所	1	
計		1	
測 点	単位	延長又は個数	備 考
No. 0+5. 7～No. 0+10. 5付近	枚	10	
計		10	
測 点	単位	延長又は個数	備 考
計			

設 計 図 面
数 量 表

面

図

計

設

進入路改修



KBH
H-124.000

由松橋

123.9

124.1

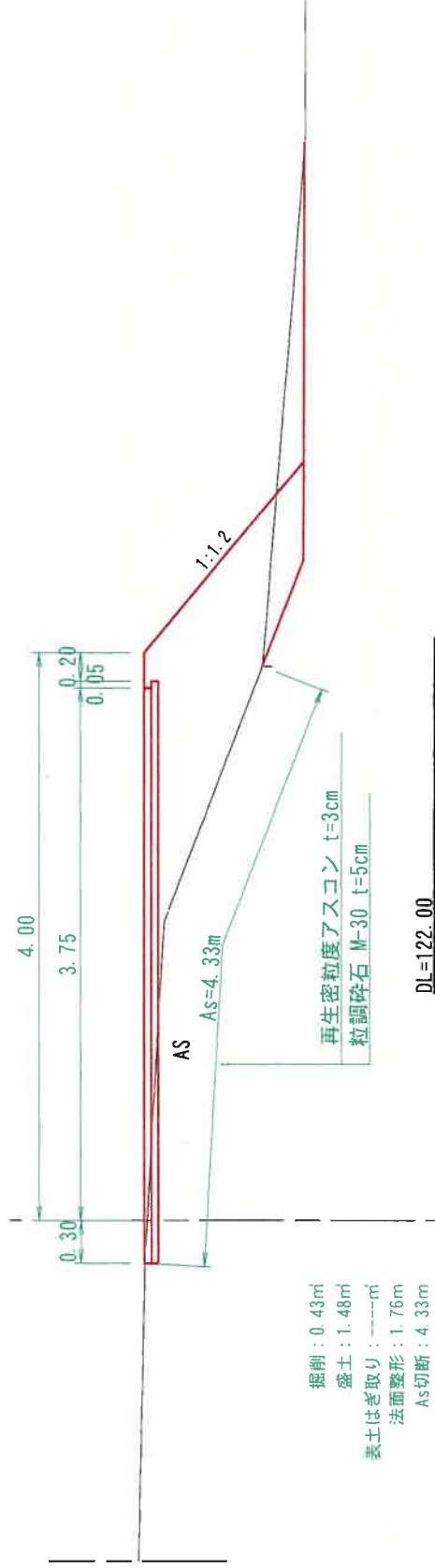
124.2

126.1

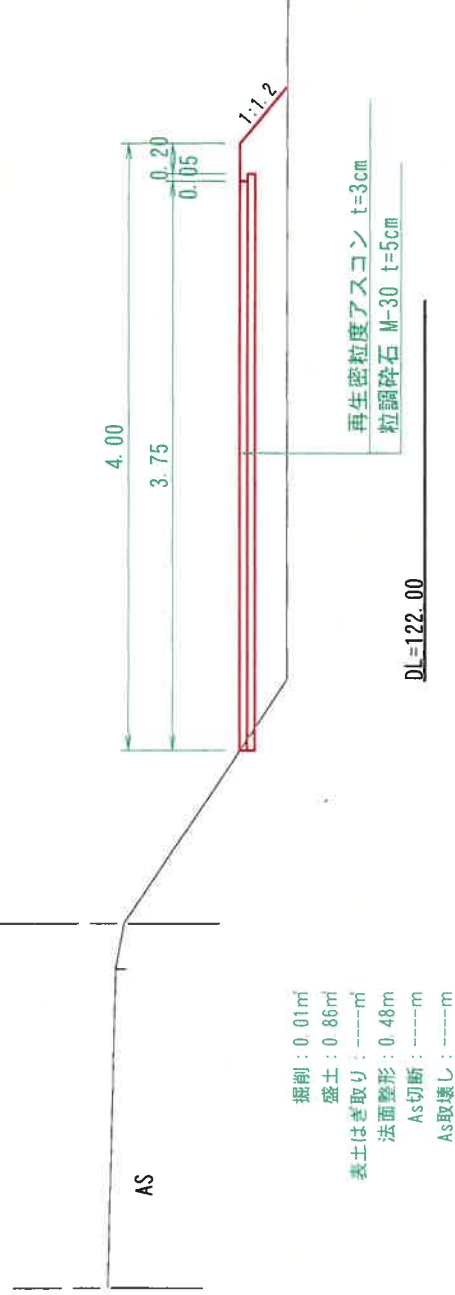
DA-5 進入路改修

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山2工区) 工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町宮内
図面の名称	計画平面図		
縮尺	1:500	図面番号	

①断面



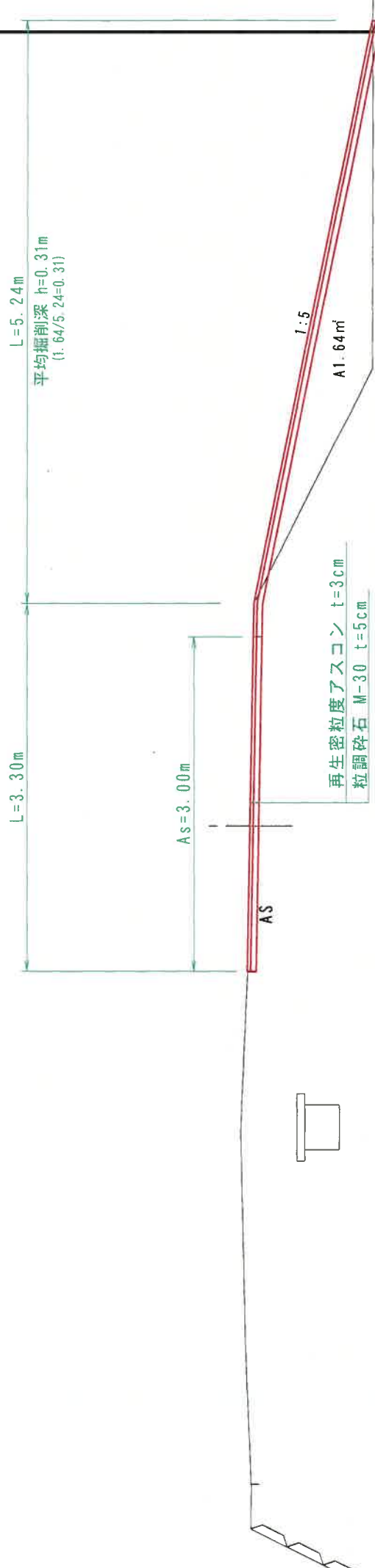
②断面



DA-5 進入路改修

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山2工区) 工事
施工年度	令和7年度
施工位置	大山町宮内
図面の名称	断面図 1
縮尺	1:50
図面番号	

③断面



掘削 : 0.04m³
盛土 : 1.25m³
法面整形 : ---m
As切断 : 3.00m
As取壊し : 3.00m

DL=122.00

DA-5 進入路改修

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山2工区) 工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町宮内
図面の名称	断面図 2		
縮尺	1:50	図面番号	

数
量
表

数量総括表								
DA-5	工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	数 量	単 位	摘 要
	進入路工事							
土工		掘削				1.47	m ³	
		盛土	流用土			1.47	"	
		"	搬入土			7.66	"	
		法面仕上げ	盛土			8.30	m ²	
		AS切断				3.00	"	
		AS取り壊し				12.99	"	
舗装工								
		表層工	再生密粒度AS t=3cm			33.02	m ²	
		上層路盤	M-30、t=5cm			33.44	"	
		不陸整正				33.44	"	

土工数量計算書

測点番号	測点間距離	掘削			盛土			法面仕上げ					備考
		断面	平均断面	立 積	断面	平均断面	立 積	長さ	平均断面	平 積	式	長さ	
NO. 0		0.43			1.480				1.76				
NO. 0 + 3.30	3.30	0.43	0.43	1.42	1.480	1.48	4.88		1.76	1.76	5.80		
NO. 0 + 3.30		0.01	0.22		0.86	1.17			0.48	1.12			
NO. 0 + 8.54	5.24	0.01	0.01	0.05	0.76	0.81	4.24		0.48	0.48	2.50		
			0.01			0.38				0.24			
計	8.54			1.47			9.13				8.30		

土工数量計算書

測点番号	測点間距離	表層工			上層路盤工			不陸整正			式	長さ		備考
		断面	平均断面	立積	断面	平均断面	立積	長さ	平均断面	平積			長さ	
NO. 0		4.05	2.03		4.10			4.10						
NO. 0 + 3.30	3.30	4.05	4.05	13.37	4.10	4.10	13.53	4.10	4.10	13.53				
NO. 0 + 3.30		3.75	3.90		3.80	3.95		3.80	3.95					
NO. 0 + 8.54	5.24	3.75	3.75	19.65	3.80	3.80	19.91	3.80	3.80	19.91				
			1.88			1.90			1.90					
計	8.54			33.02			33.44			33.44				

土工数量計算書

測点番号	測点間距離	AS取り壊し			AS切断			平積			式		長さ		備考
		断面	平均断面	立積	断面	平均断面	立積	長さ	平均断面	平積	式	長さ			
NO. 0		4.33			1.00										
NO. 0 + 3.00	3.00	4.33	4.33	12.99	1.00	1.00	3.00								
			2.17			0.50									
計	3.00			12.99			3.00								

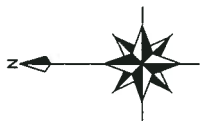
設 計 図 面
数 量 表

面

図

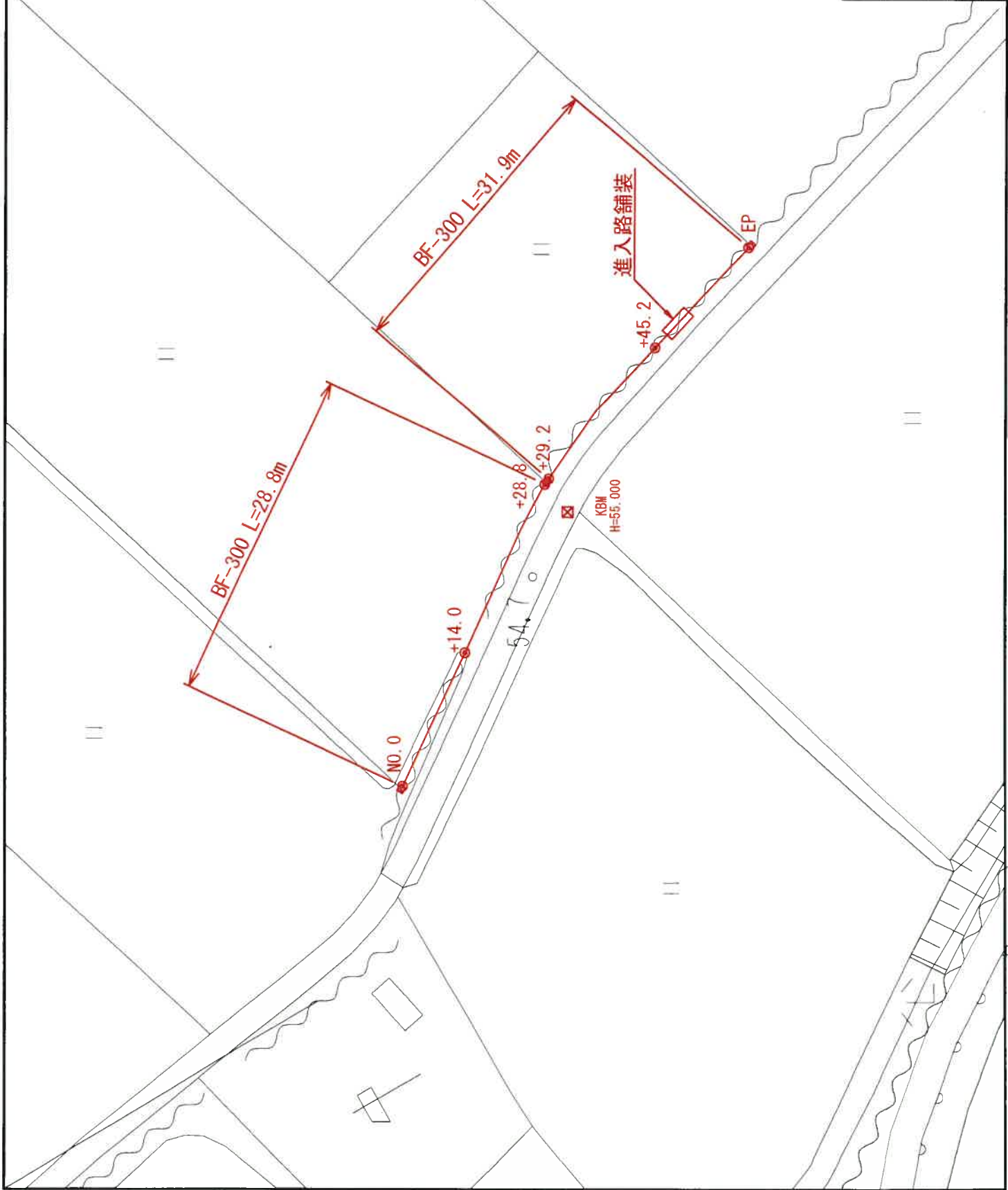
十

證

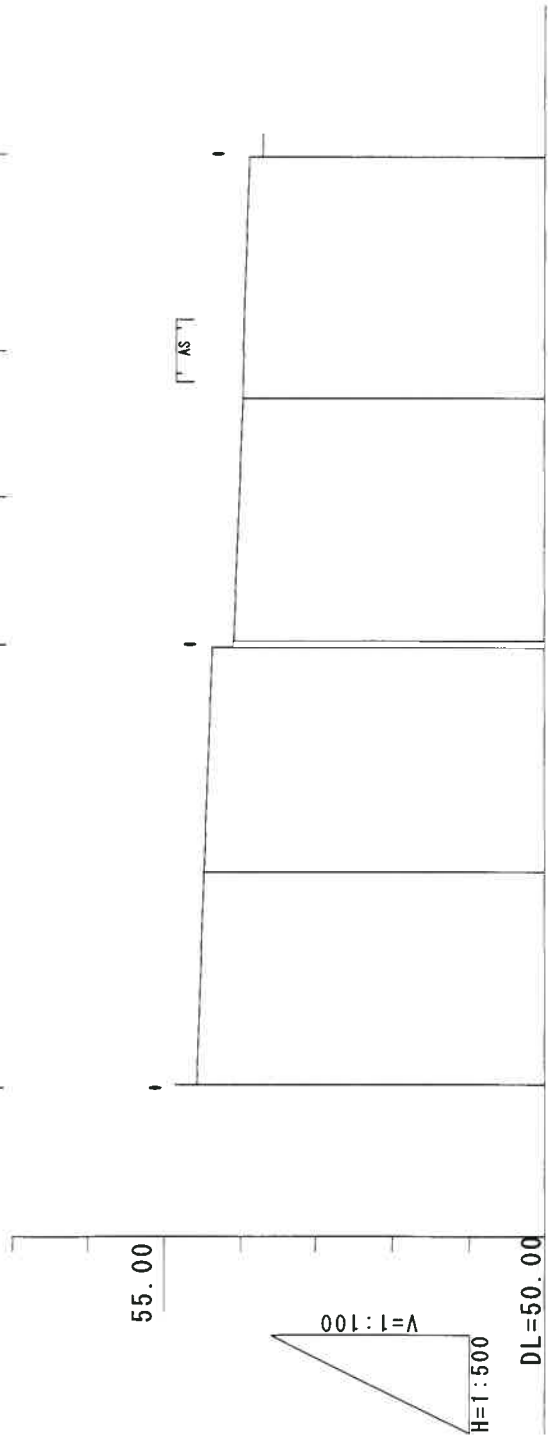


DA-6 用水路改修

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山2工区) 工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町清原
図面の名称			
縮尺	1:500	図面番号	



項目	単位	数量	単価	金額
砂	△5.4.22	1口	¥150	
埋入部	△5.4.84	1口	¥150	
取水	△5.4.58	1口	¥150	
砂	△5.5.03	1口	¥150	

[illegible]

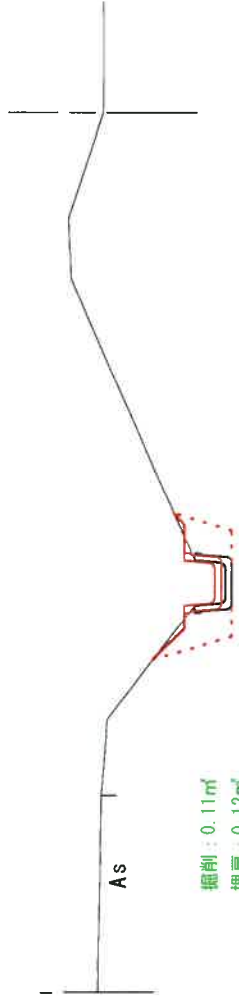
DA-6 用水路改修

事業名	しっかり守る豊林基盤交付金事業			
工事名	しっかり守る豊林基盤交付金事業 (大山2工区) 工事			
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町清原	
図面の名称	縦断面図			
縮尺	図示	図面番号		

N0. 0+29. 2 ~ N0. 0+61. 10 (EP)

L=31. 9

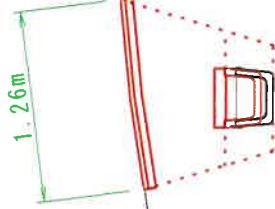
FH=54. 04
GH=53. 98



DL=53. 00

進入路 W=3. 0m

FH=54. 04
GH=53. 97



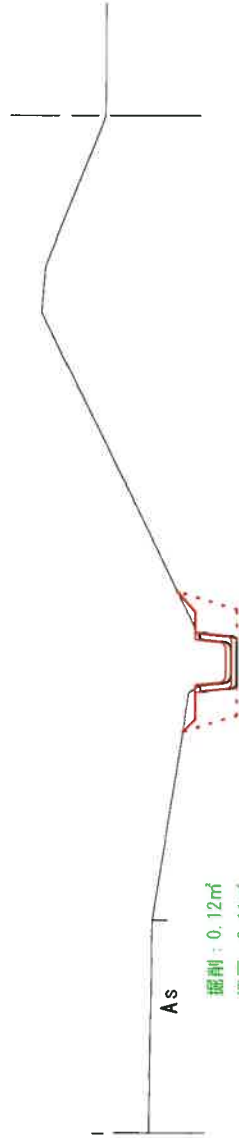
DL=53. 00

掘削: 0.66m³
埋戻: 0.54m³

N0. 0 ~ N0. 0+28. 8

L=28. 8

FH=54. 52
GH=54. 47



DL=54. 00

掘削: 0.12m³
埋戻: 0.11m³
盛土: - m³
床均: 0.30m
水平面整形: 0.30m
法面整形: 0.29m
コンクリート取壊し: 0.031m³

DL=53. 00

DA-6 用水路改修

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業			
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (大山2工区) 工事			
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町清原	
図面の名称	横断面図			
縮尺	1:50	図面番号		

表

量

数

土工数量計算書

測点番号	測点間距離	掘削			埋め戻し			床均し					備考
		断面	平均断面	立 積	断面	平均断面	立 積	長さ	平均断面	平 積	式	長さ	
NO. 0		0.12			0.11			0.300					
NO. 0 + 28.80	28.80	0.12	0.12	3.46	0.11	0.11	3.17	0.300	0.30	8.60			
NO. 0 + 28.80			0.06			0.06			0.15				
NO. 0 + 29.20	0.40				0.12	0.06	0.02						
NO. 0 + 29.20		0.11	0.06		0.12	0.12		0.30	0.15				
NO. 0 + 50.0	17.10	0.11	0.11	1.88	0.12	0.12	2.10	0.30	0.30	5.10			
NO. 0 + 50.0		0.11	0.11		0.12	0.12		0.30	0.30				
NO. 0 + 55.0	4.10	0.11	0.11	0.45	0.12	0.12	0.49	0.30	0.30	1.20			
NO. 0 + 55.00		0.11	0.11		0.12	0.12		0.30	0.30				
NO. 0 + 61.1	10.70	0.11	0.11	1.20	0.12	0.12	1.30	0.30	0.30	3.20			
			0.06			0.06			0.15				
計	61.10			6.99			7.08			18.10			

土工数量計算書

測点番号	測点間距離	法面仕上げ			水平面仕上げ			鉄筋コンクリート取り壊し			式		長さ		備考
		断面	平均断面	立 積	断 面	平均断面	立 積	長さ	平均断面	平 積	式	長さ	長さ		
NO. 0		0.29	0.15		0.30			0.03							
NO. 0 + 28.80	28.80	0.29	0.29	8.35	0.30	0.30	8.64	0.03	0.03	0.90					
NO. 0 + 28.80			0.15			0.15			0.02						
NO. 0 + 29.20	0.40														
NO. 0 + 29.20		0.36	0.18		0.27	0.14		0.03	0.02						
NO. 0 + 46.3	17.10	0.36	0.36	6.16	0.27	0.27	4.60	0.03	0.03	0.50					
NO. 0 + 46.3			0.18			0.14		0.03	0.03						
NO. 0 + 50.4	4.10							0.03	0.03	0.10					
NO. 0 + 50.40		0.36	0.18		0.27	0.14		0.03	0.03						
NO. 0 + 61.1	10.70	0.36	0.36	3.90	0.27	0.27	2.90	0.03	0.03	0.30					
			0.18			0.14			0.02						
計	61.10			18.41			16.14			1.80					

土工数量計算書

測点番号	測点間距離	掘削				埋め戻し								備考
		長さ	平均断面	平積	断面	平均断面	立積	長さ	平均断面	平積	式	長さ	長さ	
NO. 0 + 46.30		0.660			0.540									
NO. 0 + 50.40	4.10	0.660	0.66	2.71	0.540	0.540	2.21							
			0.33			0.270								
計	4.10			2.71			2.21							

